

## 第4回農業振興対策特別委員会

日時：平成29年9月20日（水）午前11時10分～

場所：市議会委員会室

- 1) 平成29年7月24、25日に実施した、秋田県大潟村への視察研修後の意見交換を行った。

### 【大潟村の主な先進事例】

- ① 農家経営負担軽減支援及び稲作経営安定緊急対策資金を村単独事業で実施
- ② 戦略作物生産拡大事業及び高度畑作等生産対策事業を村単独事業で実施
- ③ 未来アタック農業夢プランの県事業に村も助成)
- ④ 野菜等生産振興対策を村単独事業で実施
- ⑤ 排水対策（モミガラ暗渠）、基盤整備事業
- ⑥ 技術指導体制強化事業で作物の博士課程修了者を村と農協が折半、雇用し、農協へ配置しながら、現場での指導及び販路拡大に取り組み成果を上げている。
- ⑦ 労働力不足解消のため外国人を受け入れるため国へ特区申請を行った。

※ その他、後継者不足対策、複合経営など様々な取り組みが行われています。

（大潟村HP：「大潟村農業チャレンジプラン」が閲覧できます。）

また、大潟村カントリーエレベーター公社の農業施設の見学も実施しました。

### 【主な意見等】

- ① 平均水稻耕作面積が15haと比較的安定した稲作経営であるが、米の消費量や所得向上のため転作にタマネギを作付けし取り組んでいる点は参考になる。
- ② 営農指導体制で優れた人材を雇用し、農協と連携をとって成果を上げている。
- ③ 輸出を含む販路拡大に、官民一体となって取り組んでいる。
- ④ 村単独補助や県等へ上乗せ補助・助成による事業が多数ある。

- ⑤ 基幹産業である農業に対する予算は、村の財政は厳しいが離農者が増加することは、地域、村自体の存亡につながってしまうとの危機感を持って事業を展開し、村、農協、民間事業者、農家が一体となって取り組んでいる。
- ⑥ まとめとして今回の視察研修内容は、農業振興策を検討するうえで大変参考になる内容であった。

## 2) その他の協議内容

今回の委員会における協議内容等は次のとおりです。

- ① 本委員会で調査・検討すべき課題の中から、次の調査すべき課題として、「大規模転作で機械化による先進事例」とすることとした。